

田沢湖地区

第1回田沢湖公民館まつり 日頃の学習成果を発表

田沢湖地区公民館を通じて活動しているサークルなどの日頃の学習成果を発表する「田沢湖公民館まつり」が3月13日に開催されました。

12団体から約200点もの作品が展示され、菓子や料理の実演、面白パンコン体験、昔語り、健康ミニ講座などの多彩な催し物に、延べ100人以上が会場に訪れました。

来場者は、展示された作品を手にするなど、その見事な出来栄に魅了されていました。



1 作品に見入るたくさんの来場者 2200点もの作品が会場いっぱい展示されました 3 料理実演コーナーも大好評

角館地区

第2回仙北市バスケットボール大会 12チームが熱戦を繰り広げる

3月17日、第2回仙北市バスケットボール大会が角館中学校体育館を会場に開催されました。

今大会には、12チームが参加。3チームに分かれたリーグ戦のあと、各1位によるトーナメントが行われ、それぞれが白熱した試合を展開しました。

《大会結果》

優勝 Jordan Team
準優勝 RBC
3位 ウエストモンキーズ
TWEENTYSIXERS



今大会には未経験者や数年ぶりにバスケットをした選手も多数出場！体力の有無が勝敗を分ける！？

仙北市

1 田沢湖駅では16日限定で足湯のサービスも！
2 営業運転開始のスーパーこまちをゆるキャラたちがお出迎え



3月16日、秋田新幹線の新型車両E6系「スーパーこまち」が営業運転を開始。それを記念し、16日と17日の2日間、JR角館・田沢湖駅で記念イベントが開催されました。

両駅では、お梅ちゃん、福松くん、たつこちゃんといったゆるキャラ、龍神太鼓や飾山囃子などによるお出迎えのほか、物産展や山の芋鍋・豚汁・振舞酒などのサービスが行われ、多くの人で賑わいました。

「スーパーこまち」は秋田〜東京間を1日4往復し、最高時速は300キロ、現行より5分短い最短3時間45分で運行されます。



今号の表紙

JR角館・田沢湖駅で記念イベント

秋田新幹線「スーパーこまち」営業運転開始



- ・スーパーこまち 営業運転開始
- ・国道46号角館バイパス 全線6.1キロ開通
- ・仙北市バスケットボール大会
- ・田沢湖公民館まつり
- ・普通救命講習会
- ・友愛訪問活動リーダー研修会
- ・クニマス 約70年ぶりの里帰り
- ・災害時の相互応援に関する協定を調印
- ・2013たざわこ音楽祭
- ・仙北市スポーツ表彰式

角館地区

仙北市老人クラブ連合会 友愛訪問活動リーダー研修会

仙北市老人クラブ連合会・友愛訪問活動リーダー研修会が、3月6日、角館交流センターを会場に開催されました。

藤原副会長の挨拶と友愛活動の説明のあと、秋田県企画振興部総合政策課副主幹 佐々木重夫氏による講演（演題：はつらつ高齢者輝きアクションプログラムについて）が行われ、「高齢者の社会参加はなぜ重要か」「秋田県の現状」などについて講義を受けました。

参加者は、高齢者が社会参加すれば本人も秋田も元気になることや国勢調査で秋田県の高齢化率が全国1位（29.6%）といったことの説明を受けたほか、高齢者の社会参加や支援と



講演を熱心に聞き入る参加者。秋田ははつらつ高齢者輝きマスコットキャラクター「ねんりん」も応援に駆けつけました

友愛活動とは、老人クラブ活動の中心的課題の一つで、「安全確認・孤立防止」「情報の提供とニーズの把握」「日常生活の支援」「生きる意欲づくりへの支援」「悪質商法からの防衛支援」といったことを目的としています。

いった新たな取組について熱心に耳を傾けていました。

田沢湖地区

神代地域運営体主催 普通救命講習会 緊急時の対応学ぶ

3月12日、就業改善センターで普通救命講習会が行われ、地域住民や地域内事業所から28人が参加しました。

角館消防署田沢湖分署から3人の講師を招き、自動対外式除細動器（AED）の正しい使用方法や救急時の対応を学びました。



救命について皆さん真剣に学んでいました

角館地区

角館町雲然〜西長野月見堂間（1.5キロ）完成 国道46号角館バイパス全線6.1キロ開通

3月17日、国土交通省が整備を進めてきた国道46号角館バイパスの角館町雲然から同西長野月見堂までの1.5キロが完成し、田沢湖小松宇羽根ヶ台からの全線（6.1キロ）が開通となりました。



1 角館バイパスの西長野月見堂入口で行われたテープカット 216日の前夜祭にはお山囃子や手踊りの披露、紙風船上げ、火振りかまくらが行われたほか、豚汁や甘酒などが振る舞われました

午前10時に角館防災ステーションで行われた開通式には関係者約100人が出席。佐竹敬久秋田県知事が「角館バイパスの全線開通で交通渋滞の緩和と歩行者の安全確保が図られ、今後はゆつくりと観光を楽しんでもらえるものと期待している。国道46号は日本海側と太平洋側を結ぶ重要な物流ルート。今後の県民生活や経済活動を支えるうえでもその果たすべき役割はさらに高まっていくものと考えており、本県の発展に向けて極めて重要であると考えている」とあいさつしました。その後、西長野月見堂に移動しテープカットで開通を祝い、午後2時から一般車両が通行可能となりました。

角館バイパスは、自動車専用道路で、全線開通にあわせ本線の規制速度が時速70キロに引き上げられたことで、走行時の安全性や利便性が向上。また、秋田市と盛岡市を結ぶ「盛岡秋田道路」の一部として広域観光ネットワークを担う道路として期待されています。

角館地区



1 FCサリスタ（県南女子サッカー）で全国大会出場した皆さん 2 永く山岳会の運営に尽力した茂木利夫さん 3 空手の全国大会を含む数々の大会で上位の成績を収めた佐々木竜生さん 4 受賞者を代表しあいさつをする藤木浩一さん 5 県内の主要大会の多くを優勝で飾った角館マックス

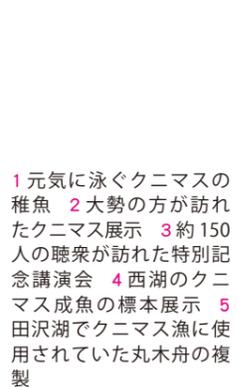
48人、6団体を表彰

平成24年度仙北市スポーツ表彰式

仙北市体育協会（菅原陽三会長）が主催する平成24年度仙北市スポーツ表彰式が3月23日、グラウンダーホールで開かれ、本年度、各競技種目で功績が認められた個人と団体に功労賞や栄光賞などが贈られました。（敬称略）
受賞者は次のとおりです。

- 《功労賞》 故・藤木雄一（スキー） 茂木利夫（山岳） 信田幸雄（グラウンドゴルフ） 千葉勇孝（バスケットボール）
《栄光賞》 田沼玲子（グラウンドゴルフ） 藤原しげ子（ソフトボール投げ） 江橋麻衣子（卓球） 高山陸（ライイングディスク） 西村謙一（ボウリング） 山崎詩乃（馬術） 伊藤雅英、高藤久晴、新山基紀、猪本幸夫、川井愛美、川井明美、山上剛（以上、ソフトテニス）
- 《奨励賞》 仲野谷美晴、根本侑子、佐藤綺音、五十嵐梨花、高橋彩香、田口侑依（以上、サッカー） 加藤瑠菜、藤原華音、三浦悠（以上、バドミントン） 門脇夏紀、猪本麻矢（以上、陸上） 下村美緒、松本匡史、村田輝昭、小嶋貴太（以上、スキー） 藤澤晃、筒崎楓、阿部莞奈（以上、登山） 須田忠厚（以上、野球） 中島優斗（陸上） 佐々木竜生、田川礼、畠山幸輝、田川颯、畠山勇輝、木元美禪、湯澤瑠奈、湯澤花梨奈（以上、空手）
- 《特別賞》 富岡司（駅伝）
《栄光賞 団体》 角館マックススポーツ少年団（野球）
《奨励賞 団体》 角館高等学校山岳部 男子・女子（山岳） 角館高等学校弓道部 男子（弓道） 生保内中学校女子剣道部（剣道） 生保内中学校野球部、神代若鮎野球スポーツ少年団（以上、野球）

田沢湖地区



1 元気に泳ぐクニマスの稚魚 2 大勢の方が訪れたクニマス展示 3 約150人の聴衆が訪れた特別記念講演会 4 西湖のクニマス成魚の標本展示 5 田沢湖でクニマス漁に使用されていた丸木舟の複製

クニマス約70年ぶりの里帰り

の方が会場を訪れました。来場者は水槽の中を元気に泳ぐクニマスの稚魚やクニマスが

3月10日から24日まで田沢湖ハーブガーデンハーブでクニマス里帰りプロジェクト特別企画展「クニマスと共に―過去から未来へ―」が開催されました。

この企画展には山梨県の協力により西湖で人口孵化したクニマスの稚魚が展示されることもあり、期間中、大勢の来場者が訪れました。会場にはクニマスの稚魚やクニマスが元気に泳ぐ様子を撮影した写真や、クニマスの歴史や生態について詳しく解説するパネルが並び、来場者は興味深く見入っていました。初日の10日には特別記念講演会が田沢湖総合開発センターで行われ、京都大学の中坊徹次教授や三浦久さん（田沢湖）、大曲農業高等学校の大沼克彦教授がそれぞれの思いや田沢湖の再生について講演しました。

仙北市と富士河口湖町 災害時の相互応援に関する協定を調印

3月9日、田沢湖ハーブガーデンハーブで仙北市と山梨県の富士河口湖町による災害時相互応援に関する協定の調印式が行われました。大規模な災害時に遠く離れた自治体間との相互協力体制が必要との認識から、西湖でクニマスの生息が確認されたことを契機に親密な交流が行われている富士河口湖町と今回協定を締結することになりました。



協定書に調印し握手を交わす、写真左から佐藤峯夫市議会議長、門脇市長、渡辺凱保富士河口湖町長、梶原武富士河口湖町議会議長

2013たざわこ音楽祭 本田武久さんを偲んで

3月17日、たざわこ音楽祭が仙北市市民会館で開催されました。昨年11月に惜しくも亡くなった故・本田武久さんを偲び、縁のある音楽家が集まった今回のコンサート。本田さんの学生時代の映像が流されるなど、出演者が本田さんとの思い出を語りながら、素晴らしい歌声や演奏を披露し、会場から大きな拍手が送られました。本田さんは、2月、秋田県で芸術文化で活躍した個人団体に贈られる芸術選奨特別賞（ふるさと文化賞）を受賞しています。

田沢湖地区

1 藤田ゆうみんさんと角館町出身のha-jさんが素敵な楽曲を披露 2 特別出演の神代小・中学校有志の皆さん。榊細工の奇跡のピアノを縁に神代小と交流を重ねたことから有志が集まり、「翼をください」などを歌いました



かくのだてフィルムコミッション ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

前号でもお伝えしたとおり、2月に下見に訪れたオーストラリア SBS放送局（国営放送）の撮影隊が再度3月に本市を訪れ、乳頭温泉郷と角館での撮影が実現しました。日本国内の旅と食文化を紹介する番組「ゴースティネーション・フレーバー」です。

この番組のメインプレゼンター、アダム・リアウさんは、6年間日本に滞在したことがあり、日本語が堪能で気さくな方でした。

西宮家では、調理師の資格も持っているアダムさんが料理をするシーンを撮影し、屋外で青森県大間産のマグロのカマを使って備長炭で豪快に塩焼きにしました。1か月前のロケハンでは、母屋を背景に撮影をする構想でしたが、雪の多さに驚き、急遽、母屋の隣にある井戸の前に場所を変更しまし



た。その後、武家屋敷通りで撮影を行い、大仙市太田では、きりたんぼを味わったほか、石川県や愛知県、京都、東京、沖縄など日本各地での撮影が5月中旬まで続けられるとのことでした。海外のメディアで紹介されることにより、「番組を見て仙北市を訪れた」という外国からのお客さまが増えたら、我々フィルムコミッションもグローバルな活動をしていけると言えるのかもしれない。さて、昨年度は10周年をむかえた区切りの年でしたが、今年度はまた新たな気持ちで、仙北市の魅力を含めて制作する側に伝え、撮影していただく機会を増やしたいと思っています。今年度もかくのだてフィルムコミッションをよろしくお願いたします。

かくのだてフィルムコミッション（仙北市観光課内） ☎ 43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>